

# 2022年度 石橋財団国際交流油画奨学生 第1次募集要項

**募集内容** 短期派遣(2ヶ月)、長期派遣(6ヶ月)プログラムにチャレンジする学生を募集します。応募ができるのは、一人一つの派遣プログラムです。各自のプログラムに添った派遣プログラムを選んでください。

\*2022年度 第2次募集未定、2022年4月以降に行う予定です。

## 募集対象

短期派遣 (2ヶ月まで)	アーティストインレジデンス派遣(3ヶ月まで)	長期派遣 (6ヶ月まで)
募集人数:3名程度 海外の大学機関やアート施設において、アートプロジェクトへの積極的な参加や、滞在する国々の特性を活かした研究・創作活動ができる学生。	募集人数:1~2名程度 海外のアーティストインレジデンスのプログラムに参加し、滞在する国の特性を活かした積極的な滞在型研究・創作活動ができる学生。	募集人数:1~2名程度 海外の滞在において、多国間の文化の違い、自国への影響関係を基準として、広い視野で表現活動を行うことができる学生。
<b>応募資格</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・2022年度 東京藝術大学 油画 学部2~4年生、大学院 油画修士・博士学生(留学生を除く) または2021年、2022年3月に卒業修了した学生で、2022年度海外留学中、または2022年度派遣期間での海外留学受け入れが確定している学生。</li><li>・滞在に支障のない語学力を有すること。</li><li>・東京藝術大学の芸術文化活動の発展に貢献できること。</li><li>・心身ともに健全であること。</li><li>・個人による応募のみとし、グループによる応募は不可とします。</li><li>・奨学生に決定した場合、必ず海外旅行保険に加入し、保険内容がわかるコピーを渡航前に提出すること。 ※既に留学中の学生を除く。</li><li>・これまでに一度も本奨学金を受けていない学生 ※ただし2022年度に東京藝術大学大学院(修士/博士)在籍、または2021、2022年3月に卒業修了した学生で、2021年度以前に学部生として本奨学金を受けた学生を除く。</li></ul>	<b>2022年度募集はありません。</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・2019年度 東京藝術大学 油画 学部2~4年生、大学院 油画修士・博士学生(留学生を除く) ※2018年度現在、卒業予定の学部生および修了予定の修士学生で、翌2019年度の東京藝術大学大学院(修士/博士)への進学を希望している学生を含む。</li><li>・滞在に支障のない語学力を有すること。</li><li>・東京藝術大学の芸術文化活動の発展に貢献できること。</li><li>・心身ともに健全であること。</li><li>・2022年度募集はありません。 ※既に留学中の学生を除く。</li><li>・各自で海外のアーティストインレジデンスに応募し、受け入れ先の承諾書の提出が渡航前に可能であること。</li><li>・奨学生に決定した場合、必ず海外旅行保険に加入し、保険内容がわかるコピーを渡航前に提出すること。</li><li>・これまでに一度も本奨学金を受けていない学生 ※ただし2019年度に東京藝術大学大学院(修士/博士)在籍で、2018年度以前に学部生として本奨学金を受けた学生を除く。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・2022年度 東京藝術大学 大学院 油画修士・博士学生(留学生を除く) または2021年、2022年3月に卒業修了した学生で、2022年度海外留学中、または2022年度派遣期間での海外留学受け入れが確定している学生。</li><li>・滞在に支障のない語学力を有すること。</li><li>・東京藝術大学の芸術文化活動の発展に貢献できること。</li><li>・心身ともに健全であること。</li><li>・個人による応募のみとし、グループによる応募は不可とします。</li><li>・奨学生に決定した場合、必ず海外旅行保険に加入し、保険内容がわかるコピーを渡航前に提出すること。 ※既に留学中の学生を除く。</li><li>・これまでに一度も本奨学金を受けていない学生 ※ただし2022年度に東京藝術大学大学院(修士/博士)在籍、または2021、2022年3月に卒業修了した学生で、2021年度以前に学部生として本奨学金を受けた学生を除く。</li></ul>
<b>派遣期間</b> 2022年7月31日~2022年9月30日の内 2ヶ月間以内(予定)	<b>2022年度募集はありません。</b> 2019年4月1日~2020年3月31日の内 2ヶ月間以内(予定)	2022年4月1日~2023年3月31日の内 6ヶ月間以内(予定)

**支援内容** ※奨学生の人数や渡航先の物価に応じて奨学金額は変動します

- 短期派遣 = 渡航費※1 + 活動支援金※2 + 海外旅行保険加入補助金※4
- アーティストインレジデンス派遣 = 渡航費※1 + レジデンスプログラム参加費※3 + 海外旅行保険加入補助金※4
- 長期派遣 = 渡航費※1 + 活動支援金※2 + 海外旅行保険加入補助金※5

※1 居住地より直近の国際空港から研修地直近の国際空港までの往復航空券(エコノミークラス / 購入時の最安値) ※既に留学中の場合同シーズンでの最安値  
上限12万円(12万円を越える場合、差額は自己負担となります。)  
※2 滞在先の物価に応じて金額を決定し、支援します。(1ヶ月につき、日本での10万円程度の金額)  
※3 上限20万(20万円を越える場合、差額は自己負担となります。ただし、レジデンスプログラム参加費に含まれる内訳内容によって、調整場合があります。)  
※4 海外旅行保険加入補助金 1万円  
※5 海外旅行保険加入補助金 2万5千円 既に留学中の学生を除く。

## 応募方法

募集告知メールに添付されている応募用フォーマットに記入のうえ、メ切期日までに「石橋財団国際交流油画奨学制度」公式Webサイト上の応募フォームから提出すること。

「石橋財団国際交流油画奨学制度」公式Webサイト <http://ishibashi-oil-tsp.geidai.ac.jp/>

※フォーマットへの記入には、最新のAdobe Readerが必要です。予め準備しておいてください。



**第1次募集期間:2022年5月11日(水)~2022年5月31日(火) 派遣者決定:2022年6月下旬以降を予定**

※5月31日(火)23時59分をもって応募を締め切ります。応募期間外に提出したものは、指定する方法以外で提出したものは、審査対象外となります。

※選考結果に関わらず、藝大メールアドレス(s学籍番号@fa.geidai.ac.jp)宛にお知らせしますので、藝大メールは必ず使用できるようにしておいてください。

※2021、2022年3月に卒業修了した学生は、確実に連絡の取れるgmailアドレスを使用してください。

## 問合せ先

東京藝術大学 美術学部 油画教員室 Tel:050-5525-2144



東京藝術大学  
美術学部 / 大学院美術研究科

油画  
2022

2022年度

# 石橋財団 国際交流油画奨学生 第1次募集案内

油画学生のための  
国際交流奨学プログラム

# 1



公益財団法人  
石橋財団

# より多くの優秀な油画学生を海外へ

Scholarship  
Application

## 石橋財団国際交流油画奨学生とはー

本学の交換留学制度を利用した油画の学生の海外留学や、夏休み期間を利用した海外アート機関等への訪問、そのための渡航費や現地での活動資金などを援助する、油画独自のプログラムです。

## 応募の流れ

募集要項と応募フォーマットは、募集開始時期に、油画学生全員に対しメールリストで配布します。各自この要項をよく読み、所定の提出フォームから記入済みの応募フォーマットを提出してください。メールリストは、原則として藝大メールアドレス宛にのみ送信されますので、予め藝大メールを受信できるようにしておいてください。油画教員による選考の後、奨学生を決定します。また、プログラム終了後には、学内にて、展覧会、プレゼンテーションなどの成果発表を行って頂きます。

POINT

## 石橋財団国際交流油画奨学生制度を利用して海外へ行くー

長期派遣、短期派遣、アーティストインレジデンス派遣、いずれの派遣でも実現可能な研究計画および渡航先を設定し、本プログラムに応募することができます。応募の際には、応募資格を満たし、現地での創作研究計画を提示する必要があります。また、滞在先の確約およびアポイントが取れていることが必須です。

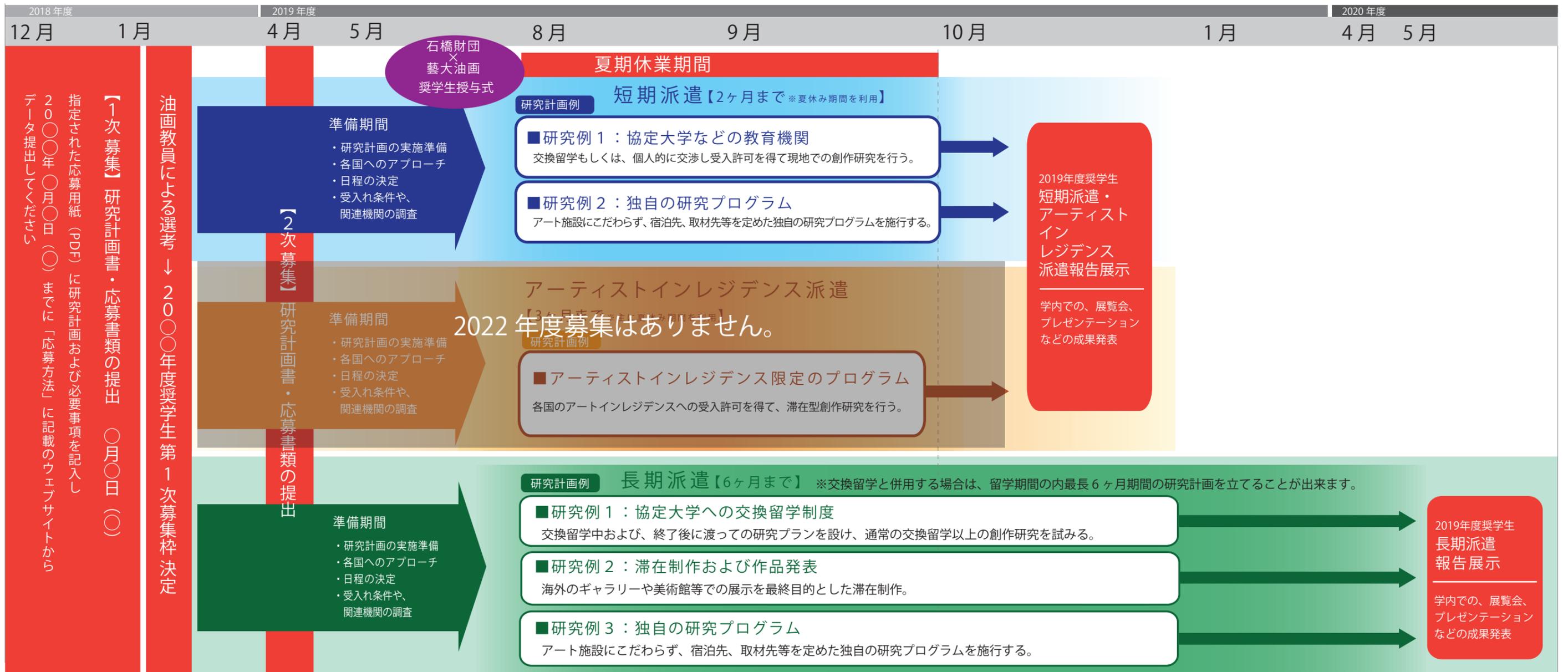
### ■ 夏休みを利用して休学せずに海外へ行く

大学の夏期休業期間を利用し、短期派遣（2ヶ月まで）またはアーティストインレジデンス派遣（3ヶ月まで）の計画をたて、本プログラムに応募することができます。休学をしないので、同学年の後期、通常授業開始までに帰国できます。

### ■ 交換留学制度と併用する

東京藝術大学の交換留学が決定している場合は、本プログラムを併用することができます。交換留学中の、近隣国/都市および近隣のアート施設などへの短期滞在や、留学期間後の自己研究などを計画することで、交換留学期間の創作研究をより深めることができます。また、通常藝大の交換留学では受けられない金銭的支援を、本プログラムを併用することで、受けることができます。

## 参考：コロナ以前、平時でのプログラムスケジュール



For Example

これまでの奨学生の場合 ※ 活動支援金は、滞在先の物価に応じて金額を決定します。

例1. 【2018年度】短期派遣（2ヶ月）奨学生Aさん 渡航地域：北米 支給金額：渡航費+活動支援金 = 約 35万円

例2. 【2018年度】長期派遣（6ヶ月）奨学生Bさん 渡航地域：アジア 支給金額：渡航費+活動支援金 = 約 62万円